

栗東市総合計画 アンケート結果の推移

■ 政策1 経済の安心を生み出す

指標	平成28年	平成30年	令和3年
地域経済と中小企業等を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合※1	25.2%	27.0%	29.7%
農業・林業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	30.2%	35.1%	30.5%
地域資源を活用した観光を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	22.9%	24.6%	22.9%
魅力ある職場づくりや、就職困難者等の安定就労に向けた取り組みが推進されていると思う市民の割合	—	—	14.9%
市民一人当たりの所得額が維持されていると思う市民の割合	—	—	18.8%
新たな産業拠点づくりに向けた取り組みが進んでいると思う市民の割合※2	19.0%	36.8%	22.0%

※1 平成30年までの指標は「商工業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合」

※2 平成30年までの指標は「新幹線新駅事業跡地をはじめ、地域に活力をもたらす産業創出のまちづくりが進んでいると思う市民の割合」

■ 政策2 教育・子育ての安心を育む

指標	平成28年	平成30年	令和3年
栗東市が子育てしやすいまちだと感じる市民の割合※1	50.4%	52.0%	55.4%
充実した就学前教育・保育への取り組みが推進されていると思う市民の割合	—	—	41.2%
小中学校に対して信頼感がある市民の割合	—	—	37.2%
充実した学校教育に取り組むまちづくりが推進されていると思う市民の割合	36.3%	39.4%	35.1%

※1 平成30年までの指標は「安心して子育てができる環境づくりが推進されていると思う市民の割合」

■ 政策3 福祉・健康の安心を築く

指標	平成28年	平成30年	令和3年
健康づくりを実践するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	61.5%	66.0%	47.9%
健全な食生活の実践など食育のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	44.6%	52.1%	33.7%
困ったときに近所に助けてもらえる人がいる市民の割合	—	—	50.1%
高齢者が健やかに暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	47.9%	49.3%	41.5%
障がいのある人がない人と同様に日常生活を送れる環境づくりが推進されていると思う市民の割合	37.2%	38.9%	23.0%
国の社会保障制度について周知が図られ、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	33.6%	37.4%	29.1%

■ 政策４ 暮らしの安心を支える

指標	平成 28 年	平成 30 年	令和 3 年
人権意識が高く、差別や偏見のないまちづくりが推進されていると思う市民の割合	51.6%	51.9%	39.3%
平和の尊さを実感できるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	41.6%	42.8%	35.4%
性別にかかわらず、活動・活躍できる男女共同参画のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	—	—	35.2%
犯罪や消費者被害から市民が守られ、交通事故が少なく、安全に安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	53.8%	45.4%	45.2%
幹線道路や鉄道、バスなどの公共交通をはじめとする広域的な交流基盤が整備されたまちづくりが推進されていると思う市民の割合	26.9%	26.3%	32.5%
国籍、民族などが異なる人々が相互に認め合い、共に暮らすことができるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	26.5%	28.3%	31.8%
自治会等の地域活動による住民自治のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	58.5%	62.6%	54.8%
生涯学習のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	41.9%	46.1%	36.6%
歴史や伝統文化が生かされ、市民文化や芸術活動を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合	48.9%	48.3%	38.4%
災害への備え（自助）をしている市民の割合	—	—	37.4%
道路・河川等の災害対策・防災に配慮されたまちづくりが推進され、地域における防災・危機管理体制が充実されていると思う市民の割合	48.1%	49.6%	43.6%
地球温暖化防止やごみの分別や資源化の推進など、地球にやさしいまちづくりが進んでいると思う市民の割合	65.5%	65.1%	60.5%
身近に公園や緑地等があり、美しい都市景観のまちづくりが推進されていると思う市民の割合	49.6%	51.2%	50.4%
住宅環境（家屋の適正管理や景観保全）が美しく保たれていると感じる市民の割合	—	—	51.4%
ライフラインや公共施設等、暮らしやすい快適な住環境が整ったまちづくりが推進されていると思う市民の割合	52.0%	52.5%	51.6%

■ 政策５ 行政の安心を営む

指標	平成 28 年	平成 30 年	令和 3 年
市民参画や協働によるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	39.20%	40.80%	33.10%
行財政運営が効率的に実施されるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	21.00%	24.50%	22.30%
公正、確実な事務運営により、行政サービスの品質向上が推進されていると思う市民の割合	27.80%	26.90%	30.10%
「栗東と言えば馬のまち」と感じる市民の割合	—	—	63.10%

■ お住まいの地域や今後について思うこと等

指標	平成 28 年	平成 30 年	令和 3 年
住み慣れた地域で、近隣との支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	51.7%	54.4%	51.8%
まちの中であなたが愛着や誇りを感じているものがあると思いますか	—	36.2%	40.6%
今の場所に住み続けたいと思いますか	69.8%	73.0%	67.5%
通勤・通学、仕事に便利	—	14.8%	12.0%
商業や事業に有利	—	0%	0.4%
住宅の都合	—	16.1%	12.4%
日常生活が便利（買い物、医療、福祉）	—	20.3%	22.5%
生活環境が良い（自然、住居、安全）から	—	21.0%	16.0%
子どもの教育の関係	—	0.7%	1.1%
近所との関係に満足	—	4.4%	4.4%
親類、知人が近くに住んでいるから	—	3.8%	3.6%
まちに愛着があるから	—	4.4%	6.3%
親や先祖の代から住んでいるから	—	11.5%	7.8%
その他・無回答	—	3.1%	13.5%
「SDGs（エスディージーズ）」という言葉を知っている人の割合	—	—	43.6%